

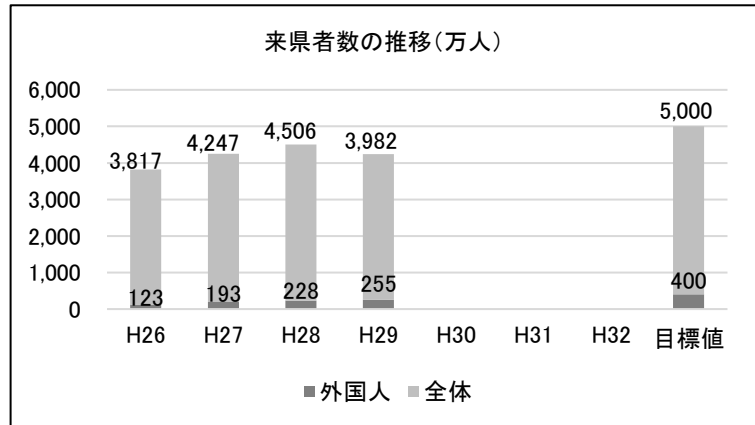
**「平成 30 年度版 あいち観光戦略に基づく観光振興施策の実施状況  
(平成 30 年度年次報告書)」の概要**

愛知県観光振興基本条例第 9 条第 6 項の規定に基づき、「あいち観光戦略」(平成 28 年度～平成 32 年度)に定められた観光振興に関する施策の実施状況について、県議会に御報告するとともに、公表を行う。

**第 1 数値目標の達成状況**

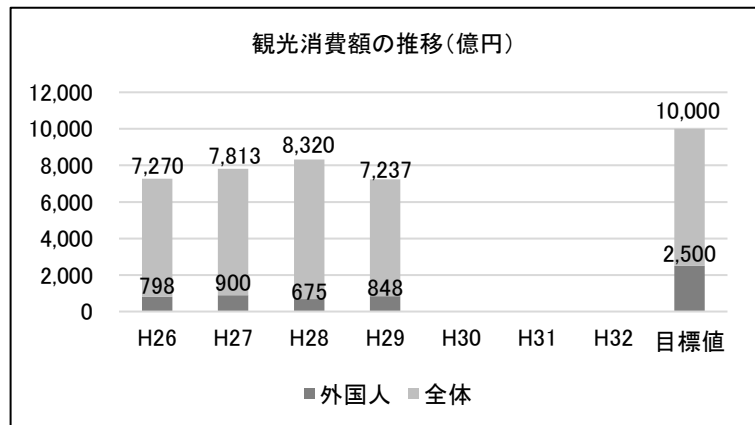
**(1) 来県者数**

平成 29 年は、台風の影響により、名古屋まつりなどの大規模な行祭事や観光施設の人出が大幅に減少し、10 月単月で前年比 500 万人減となり、このことが全体の来県者数を押し下げることとなった。(本冊 4 頁)



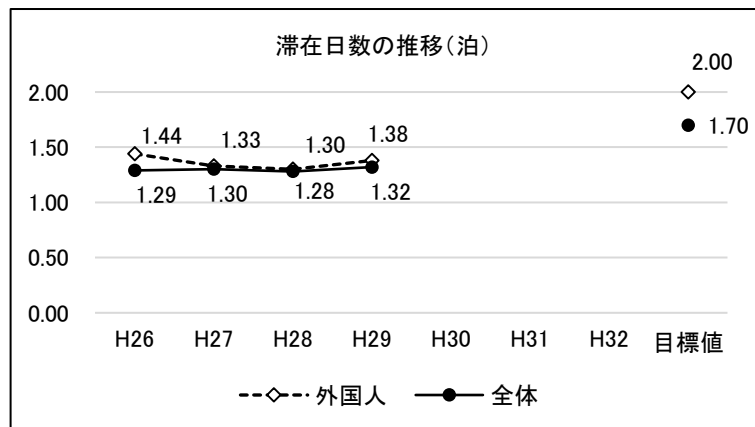
**(2) 観光消費額**

平成 29 年は、観光入込客数の減少に伴い、全体として 1,000 億円以上の減少となった。ただし、外国人は、「爆買い」の沈静化により下落傾向が続いていた客単価が上昇に転じ、675 億円から 848 億円へと 173 億円の増加となった。(本冊 5 頁)



**(3) 滞在日数**

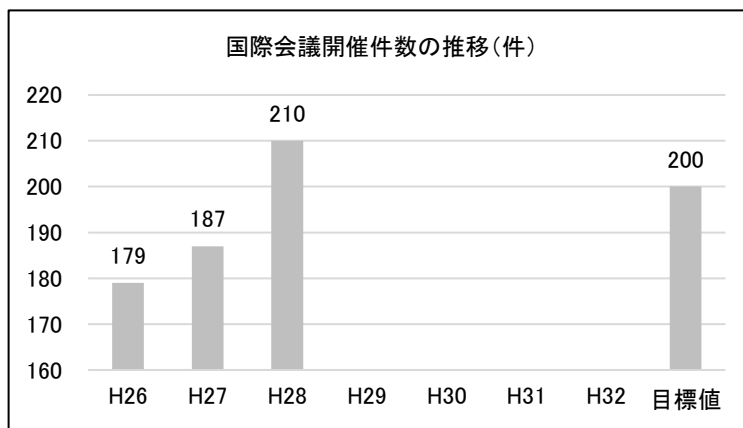
平成 29 年は、全体、外国人ともに、前年比で長くなった。特に、外国人は、全国の観光目的客の滞日泊数が短期化したのに対し、県内泊数は延びており、昇龍道プロジェクトなど地域の取組みが奏功している可能性がある。(本冊 6 頁)



#### (4) 国際会議開催件数

現時点で得られる最新データ（平成 28 年）では、目標の 200 件を超え、210 件となった。これは、会議の周期性によるもののほか、名古屋大学での開催件数の増加が寄与している。

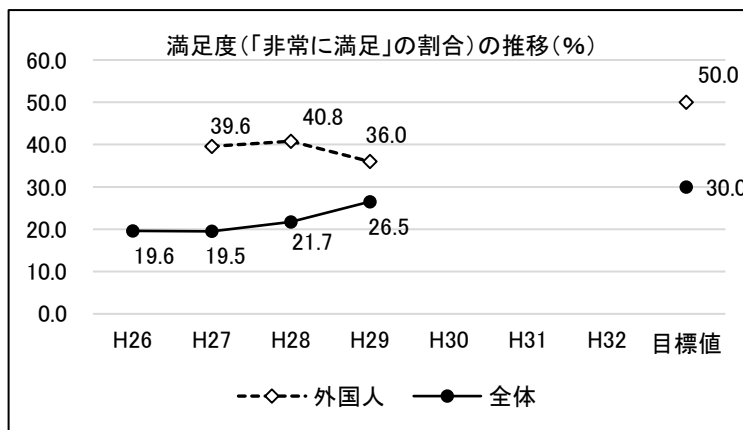
（本冊 7 頁）



#### (5) 満足度

平成 29 年は、全体が向上したのに対し、外国人は低下した。外国人に「不満に感じた点」を問う設問では、ほとんどの項目で前年に比べて大幅に改善したが、逆に「満足に感じた点」は悪化しており、求められる水準が高くなったと推察される。

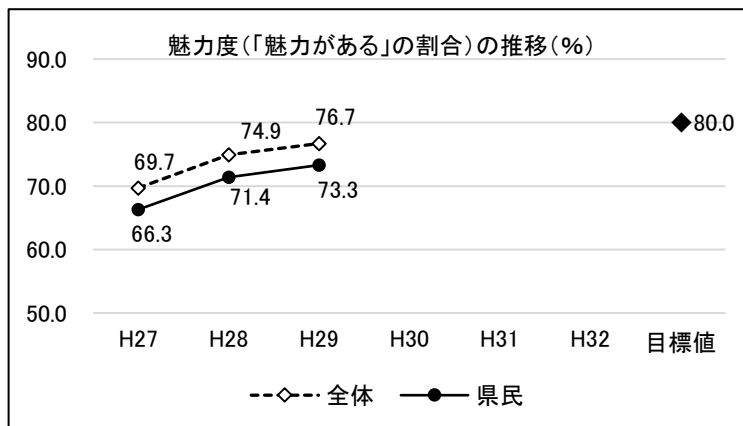
（本冊 8 頁）



#### (6) 魅力度

平成 29 年は、全体、県民ともに向上したが、県民に、友人や同僚に愛知への観光を薦める可能性を尋ねたところ、49.2%が低位の回答をしており、県民が観光 PR 役を担っているとは言い難い状況である。

（本冊 9 頁）



## 第2 平成29年度の観光振興施策の実施状況（主なもの）

### （1）戦略Ⅰ 訪日外客誘致に向けたプロモーションと受入態勢の強化

主として、アジア地域を対象にしたPR・プロモーションを実施したほか、（一社）愛知県観光協会に補助金を交付し、愛知の公式観光サイト「Aichi Now」において、多言語での情報発信を行った。

### （2）戦略Ⅱ 観光資源の充実とブランド化の推進

本県らしいテーマ観光である武将観光及び産業観光の推進を中心に、各種施策を実施した。特に、産業観光では、「あいち航空ミュージアム」を開館し、新たな観光拠点を整備した。また、愛知デスティネーションキャンペーン（プレキャンペーン）を実施し、翌年の集中キャンペーンに向けて、旅行会社担当者に本県の魅力をPRした。

### （3）戦略Ⅴ 戦略的な観光ひとつづくり

（一社）愛知県観光協会とともに、市町村や地域観光協会職員、民間事業者らを対象に、「着地型旅行商品セミナー」を開催し、商品造成・販売に必要な知識・技術を習得する場を創出したほか、大学や高校等の学生・生徒から募った観光振興に関するアイデアを選考、表彰する「あいち学生観光まちづくりアワード」を実施した。また、「あいち観光まちづくりフォーラム」を開催し、県民自身が愛知の観光を盛り上げていこうとする機運醸成を図った。

## 第3 平成30年度の主要な観光振興施策

### （1）戦略Ⅰ 訪日外客誘致に向けたプロモーションと受入態勢の強化

従来から行ってきたアジアに加え、ラグビーワールドカップ2019の開催を見据えて、欧米豪を対象にしたPR・プロモーションを実施する。

また、2019年11月に開催予定のG20外相会合を見据え、名古屋市をはじめとする関係機関・団体等と連携し、各国政府関係者・メディア関係者の受入体制の構築を進めるほか、当地域の産業力や技術力、伝統文化、観光地としての魅力などを世界に向けて発信するための取組みについて検討する。

### （2）戦略Ⅱ 観光資源の充実とブランド化の推進

10月から12月に、愛知デスティネーションキャンペーン（集中キャンペーン）を開催し、市町村や地域観光協会、観光事業者らと連携して、本県が持つ魅力を大いにPRし、全国からの誘客を推進する。

また、武将観光においては、引き続き、「徳川家康と服部半蔵忍者隊」による「武将のふるさと愛知」の発信を行うほか、11月には大高緑地で「サムライ・ニンジャフェスティバル」を開催する。あわせて、11月には、地域伝統芸能全国大会を開催し、本県の伝統文化を全国にPRし、愛知・名古屋への誘客を図る。